

みらい塾だより

「北九州教師養成みらい塾」第3回

9月26日(日)リモートで開催！



第3回みらい塾の振り返りの内容を紹介します。



教師役と子ども(保護者)役になり、
ロールプレイングを行うことで、学びを深めました！

『信頼関係を築く子どもとの関わり方』についてについて考えよう。

- 「しっかりと見ているよ」「成長を楽しみにしているよ」ということが子どもに伝わるような、態度や行動が大切だということを学びました。具体的に褒めることはとても大切ですが、時には毅然とした態度で指導することも子どものために必要なことだと感じました。(小学校教諭希望者)
- 悪い例の動画から問題点や改善点など教師の手だてばかりを考えようとしていましたが、その前にその指導に対してどう思ったかという子どもの気持ちを考えることが大切だと教わりました。ロールプレイングをすることによって、さらに教師の発言に対する子どもの気持ちを感じることができました。(中学校教諭希望者)

『信頼関係を築く保護者との関わり方』についてについて考えよう。

- 保護者と連携するために、普段から学級通信、電話、面談、連絡ノートなどいろいろな手段で保護者と連絡を取ることが必要であると学びました。そして何よりも、「保護者から信頼を得るために〇〇する」だけではなく、子どもたちと平等に接し、適切な指導や支援を行っていく中で、「子どもを想う気持ちが保護者の方にも自然に伝わっていく」ということが一番の大きな学びでした。(中学校教諭希望者)
- 主に電話対応での口調や、子どもを気遣う声かけて信頼関係が深まることを学ぶことができました。さらに、実際に先輩教員からのメッセージを紹介していただき、自分も一生懸命子どもや保護者の方が安心できる学校づくりに関わって、保護者と信頼関係を築ける教師を目指したいという思いが強くなりました。(養護教諭希望者)

先輩教員の動画から支援や手だてを行っている理由や参考にしたいことについて考えよう。

- 先生の子どもたちに対する教育的愛情をととても感じました。支援や手だてを行っていく一番の理由は愛情だと考えているので、これからも大切にしていきたいと思いました。(小学校教諭希望者)
- 障害が重い場合、発語がなかったり、一人ではできないことが多かったりすることがあると思います。そのような中でも子どものちょっとした反応をとらえることで、以前できなかったことが少しずつできるようになってきたことを感じるのが醍醐味であると思いました。先生はそれを存分に感じながら生き生きと教員生活を送っているのだろうなと思い、私もそうなりたいと感じました。(特別支援学校教諭希望)

全体を通しての感想(抜粋)

- はやく教育の現場に出たいという思いが強くなるような内容ばかりでした。未来の教員生活にワクワクしています。しかし、実際には困難や壁にぶつかると思います。それでも北九州市には助けてくれる人がいる、支えてくれる人がいると、みらい塾を通して感じたので頑張れそうです。(小学校教諭希望者)
- チューターの先生が私たちにかけくださる言葉やアドバイスが、とても自信につながりました。否定せず、褒めて、認めて、励ましていただける先生方の話し方や接し方一つ一つが教師の姿そのものだと感じました。(小学校教諭希望者)
- 実際の現場でのアレルギー児童の話や対応を聞いて、学びを深めることができました。「学生と講師の先生が混ざったグループで本当によかった、学びが深まった」と感じました。今後もこのようなグループでの学びがあると、学生にとっても講師の私にとっても学びが多くなり有意義な環境になると思います。(養護教諭希望者 講師)



今後の皆さんの活躍を楽しみにしています♪